埋蔵文化財調査報告　第２集

天王山第1号製鉄址発掘調査概報

１９７１．３

小松市教育委員会

Ⅰ 遺跡の位置

南加賀平野は小松市の南部で片山津丘陵と白山前山地帯に狭まれ、幅約2.5㎞の最狭の平野部を形成する。この平野部と粟津温泉～山代温泉間の県道とに狭まれた海抜４５ｍ前後の丘陵は、数多くの須恵器窯址や陶質土器窯址が存在するところから、南加賀における須恵器工人集団の中心的生産地として、南加賀古窯址群の名が与えられている。天王山第１号製鉄址はこの丘陵を加賀市と小松市に二分する、那谷町から箱宮町にいたる小谷につき出た海抜４３.５ｍの通称天王山（那谷町より北西約５００ｍ）の南斜面に位置する。

Ⅱ 調査経過

調査は昭和４５年４月１日より４月６日まで、北陸大谷高校地歴クラブ及び但馬秀三（岡山大学法文学部学生）氏の協力を得て第１次調査を実施し、さらに昭和４５年７月２４日より８月２０日を第２次調査とし、東京工業大学大場利夫技官・但馬秀三氏・提諭吉（岡山大学法文学部学生)氏及び北陸大谷高校地歴クラブの協力を得た。

第１次調査は鉱滓が最も多量に分布する範囲の伐採と分析資料の採集を行い、ついで調査区を設定したが、二ツ梨町一貫山須恵器窯址の緊急調査のため以下の発掘調査を後日に譲った。第２次調査は第１次調査で設定された４つのグリッドの発掘を中心に作業をすすめ、幸い設定した調査区で製鉄の全様をつかむことができた。

Ⅲ 遺構及び層序の説明

遺　構（第１図参照）

黄褐色粘土（地山）を長さ4.3ｍ、幅1.7ｍ、深さ約３５cmに深りくぼめ、その底面に乾燥装置として厚さ約１０cmに木炭を埋め、その上面に長さ3.5ｍ、最大幅1.１９ｍ、最小幅0.８８ｍ、厚さ約２５cmの耐火性粘土で炉床をつくっている。しかし、炉壁はまったく遺存しないため、検出された炉床面をもって、ダダラ築炉当初の炉床と断定することは現時点ではひかえたい。又、炉床周辺には焼土の散乱があり、炉面に付着する鉱滓中にはほとんど有効鉄量が含まれず、今回検出された炉床は有効鉄を取り出した後のダダラの遺存体と考えられ、炉床面よりダダラの規模を想定することは無理であるが、ほぼ長方形を呈するものと考えられそうである。

層序の説明

第1断面（第2図参照）

①硬質黄色粘土層（含炉壁片・焼土）
②硬質黄色土層（含スラグ・炭・焼土）
③軟質黒色土層（含微炭粒子）
④硬質黄色土層（含微炭粒子・焼土）
⑤軟質暗褐色土層（多含スラグ・炉壁片）
⑥暗赤褐色土層（含炭・焼土片）
⑦流出スラグの堆積
⑧木炭層
⑨暗褐色土層（含焼土・炭・炉壁片）
⑩暗褐色土層（なにも含まない）
⑪赤色酸化層
⑫耐火性粘質土層

第2断面（第2図参照）

①硬質褐色土層（含炭・焼土）
②軟質暗褐色土層（含炭・焼土）
③硬質灰褐色土層（含炭細片・焼土）
④軟質黒褐色土層（含　炭）
⑤硬質黒褐色土層（含炭・焼土）
⑥軟質茶黒色土層
⑦硬質黒褐色土層（含炭・焼土）
⑧木炭層
⑨軟質黒褐色土層（何も含まない）
⑩硬質暗褐色土層（含炭・焼土）
⑪硬質暗褐色土層（多含炉壁片）
⑫硬質暗褐色土層（多含焼土・炉壁片）
⑬硬質褐色土層（含炉壁・焼土・炭）
⑭軟質暗褐色土層（含炉壁・焼土・炭）
⑮焼土・炭片を含む軟質土層

第3断面（第2図参照）

①表土層
②暗褐色有機質含有土層
③赤褐色粘土層
④暗褐色土層（含炭細片）
⑤暗褐色土層（含焼土片・炭）
⑥黒色土層（含炭・焼土・灰）
⑦硬質灰褐色土層（含炭・焼土片）
⑧木炭層
⑨固い褐色土層
⑩黒色土層（多含炭）
⑪灰褐色土層（含炭・焼土細片）
⑫暗褐色土層（含　炭）
⑬暗褐色土層（なにも含まない）
⑭硬質灰褐色土（含炭・焼土）
⑮灰褐色土層
⑯混粘土粒灰褐色土層
⑰灰褐色土層（含炭・焼土）
⑱褐色土層（含　炭）

Ⅳ 結　語

ダタラの年代については、炉床面上部より5cm隔てた第1層（第1断面）中に本遺構にほど近いところにある天王山第1号陶質土器窯址の陶質土器片が混存していたので、本製鉄址の築造をこの土器の示す中世以前にさかのぼらせることができるであろう。本遺構にかくなる漠然とした年代観を与えたのは、陶質土器の編年序列の研究が始まってまだ日が浅く確固たる編年が樹立されていないためであり、陶質土器の編年と数多くのダタラ址を調査された段階で再考したい。

（文責　小　村　　茂　小松市立博物館々員）

天王山第１号製鉄址発掘調査

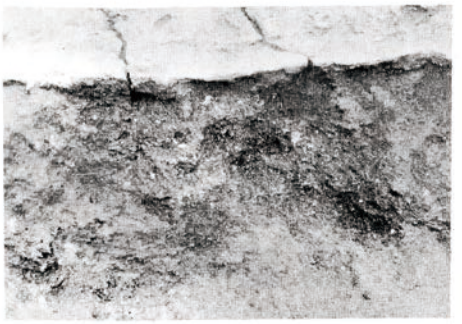
調査期日　昭和４５年４月１日～４月６日（第１次調査）
　　昭和４５年７月２３日～８月２０日（第２次調査）

調査担当　上野与一　小村茂
調査員　但馬秀三　堤諭吉
調査協力　大場利夫
　　北陸大谷高校地歴クラブ

調査に協力いただいた方々に感謝の意を表するとともに、鉱滓分析にお力を注いでいただきました小松製作所の方々に衷心より謝意を表したい。

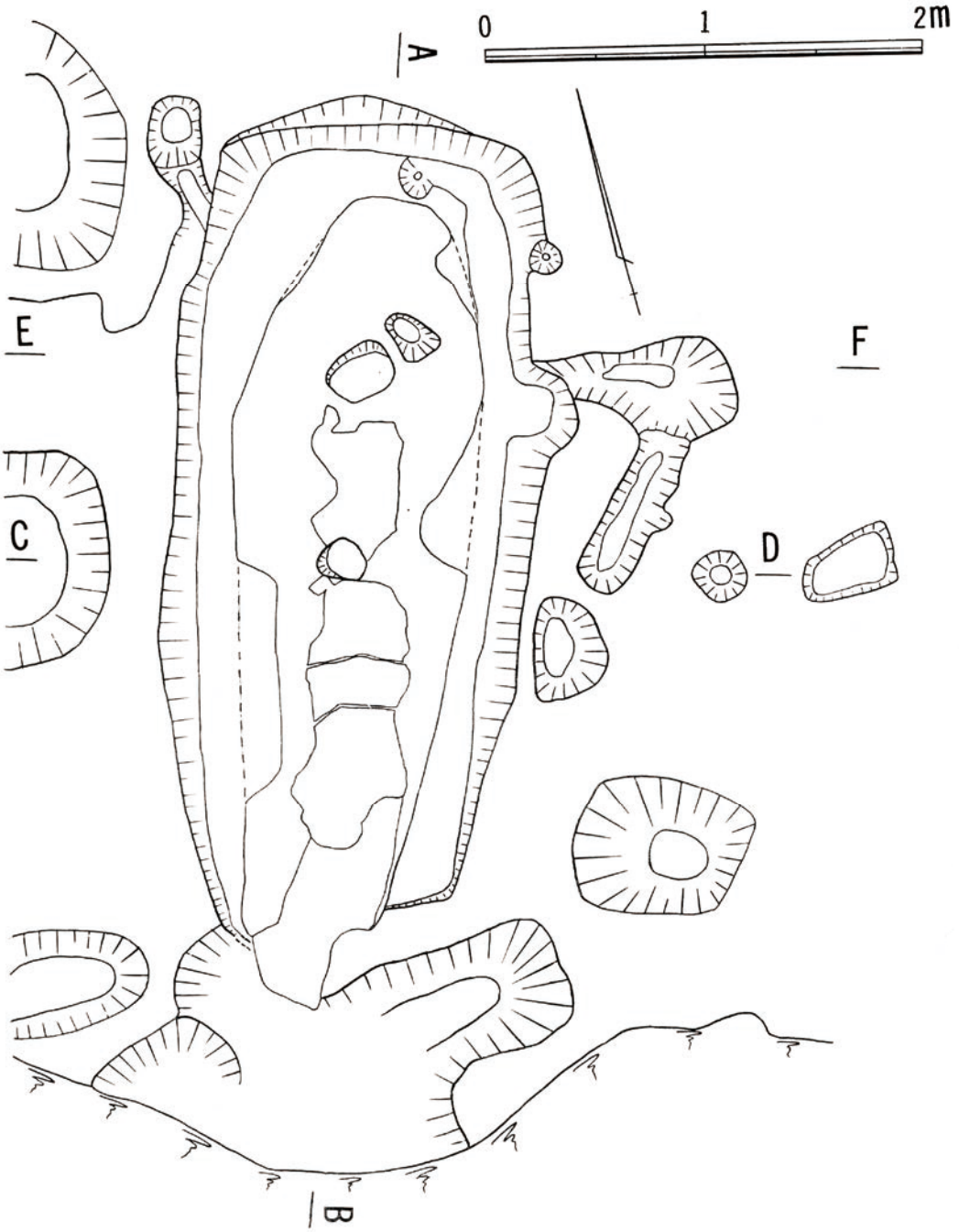
天王山第１号製鉄址採集の鉱滓分析表

採集地点	化学成分（%）								
	SiO	AI O	FeO	Fe O	MnO	CaO	MgO	TiO	Ig-Loss
No.1（３区～７区）	22.56	8.00	40.33	2.49	0.66	1.51	5.76	17.62	1.05
No.2（１区～５区）	31.30	7.65	36.60	3.74	0.59	1.40	3.87	14.65	0.19
No.4（３区の１）	27.60	4.45	41.15	1.25	0.64	1.19	6.37	17.07	ナシ
No.5（９区）	23.20	2.15	44.63	2.91	0.61	0.17	6.30	17.40	2.62
No.6（７区黒色土層）	21.74	2.35	33.98	17.04	0.60	—	6.70	16.65	0.93
No.7（２区の３）	32.82	3.75	38.65	2.17	0.63	0.73	6.63	13.65	0.62
No.8（４区）	39.98	4.70	28.75	4.57	0.52	0.47	5.79	13.99	1.22
天王山土	72.26	10.75	ナシ	7.48	0.29	ナシ	0.64	0.75	7.83

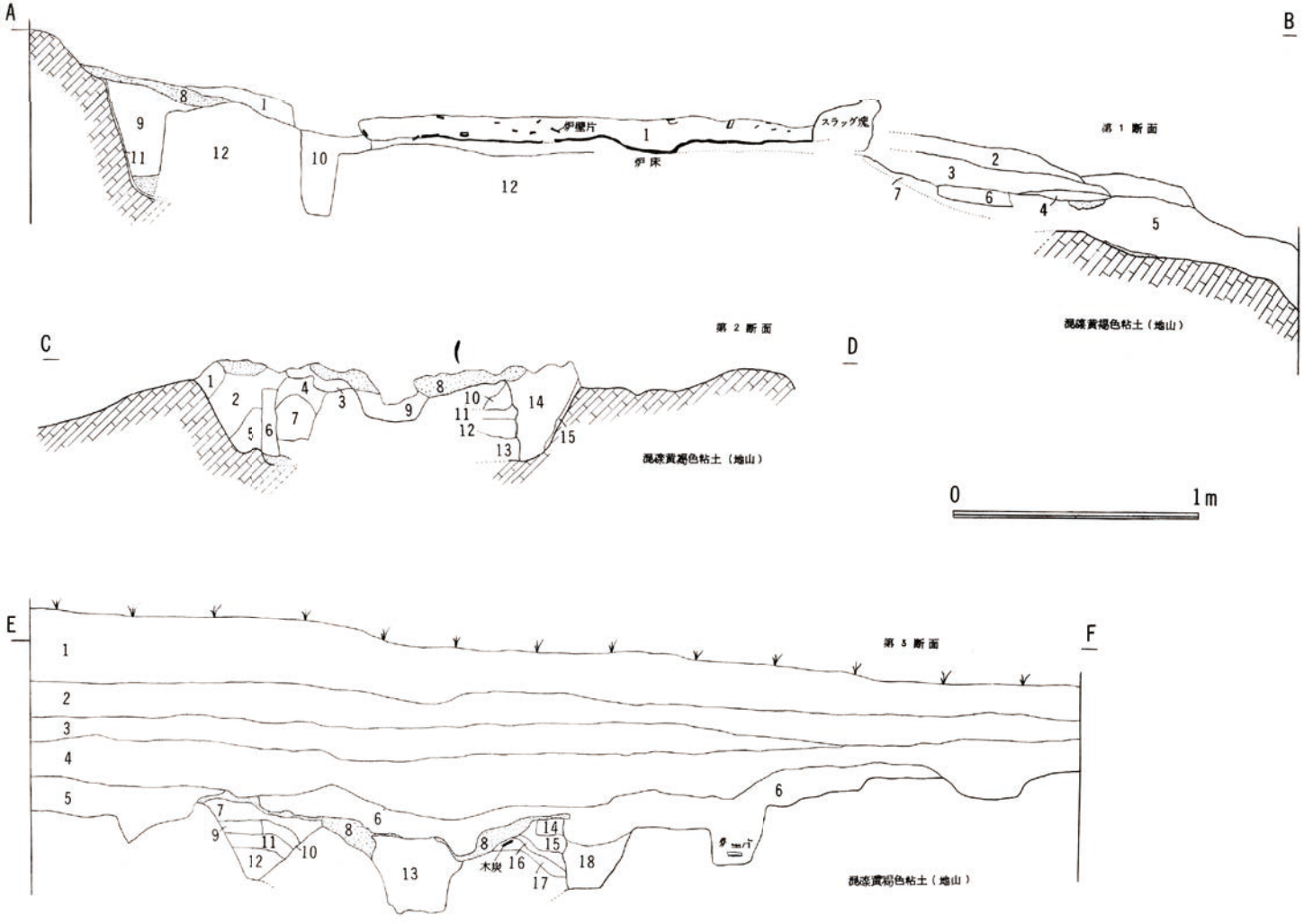


左上　タタラ近景　　左中　タタラ址上面

右中　タタラ址全景　　右中　タタラ址縦断面



第１図　天王山第１号製鉄址平面実測図



第 2 図　天王山第 1 号製鉄址断面図